

発 行

福井県大野市役所

(総務課広報係)

電話(代)6-1111

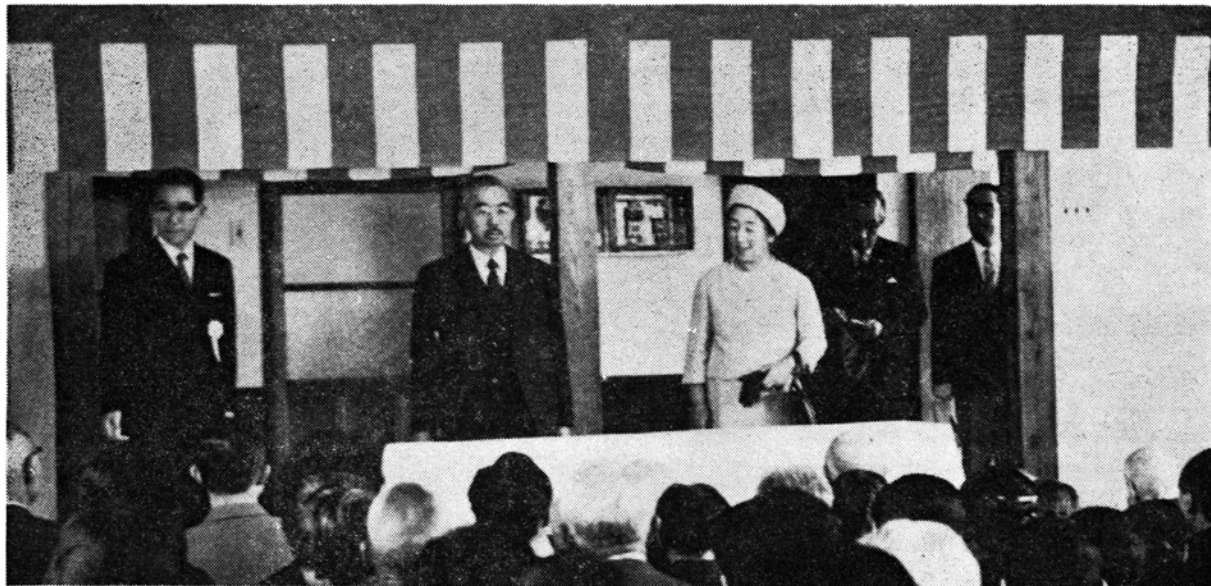
郵便番号-9 1 2

印刷 松浦印刷所



10月の人口の動き

出生	男 14	女 16	計 30
死亡	男 13	女 9	計 22
転入	男 41	女 54	計 95
転出	男 67	女 72	計 139
世帯数	9,890		
人口	43,531		
男	20,893		女 22,638



「お元気でおだいじに」 両陛下 福祉施設をご視察

菊のご紋章を、キラキラと秋の日ざしに照り映えさせながらお車はすべるように和光園の玄関前にお着きになりました

午後2時19分、静かにお車からお降りになられた両陛下は市長を始め関係者のお迎えにおこたえになりながら、園長にご案内され奏上室へお入りになりました

奏上室で8分間をお過ごしになり、園内をご視察にされましたが、そのご巡路にあたる一部屋一部屋の老人たちに天皇陛下は「たのしくらすように」、皇后陛下は「おだいじに」と言葉をおかけになり、最後に老人たち140名の集まっている集会場へお入りになられました。緊張と感激の一瞬でした。

園長のご説明のあと両陛下はここでも「みんな元気でしあわせにくらすよう」「おだいじに」とのお言葉をくださいました。瞬間、いっせいに万才のどよめきが会場にあふれ、老人の作った日の丸の旗がざざざとばかりに打ち振られました。「ありがたい、ありがたい」と両手を合

わす老人、感激にただ応えている老人。

それらの人たちにやさしくえしゃくをお返しになりながら両陛下は和光園をお立ちになられました。午後3時35分。

(写真は老人をお慰めの両陛下＝大野和光園にて)

国体を終えて

大野市長 寺島利鏡

福井国体も予想以上の好成績をあげて無事終了いたしました。

当市では全国から千数百名の役員選手をお迎えいたしました。市民の善意に満ちた奉仕とご協力により、親切国体の大任を果たすことができました。郷里に帰られた皆さんからは、厚い感謝の便りが続々届けられています。

これもひとえに市民の皆様方のご協力のたまもので、ここに厚くお礼を申し上げます。

明治100年を祝う

さる10月23日、明治百年を祝う記念式典が、中央では東京の武道館で挙行されました。

大野市役所でも午前9時から市職員に対して市長から訓話があり、各学校でも先生から明治百年の意義についてお話があり、午後休業しました。

この日は「慶応」から「明治」と改元された明治元年9月8日(旧暦)からちょうど満百年に当たります。

この100年間に、日本は封建制度から脱却して、諸制度の改革を断行し、近代国家として世界の人々を驚ろかす一大発展をとげました。

「新しい時代をひらく国体」を目標に、「明るく・清く・たくましく」を合言葉に市民一丸となったことが、福井国体を成功に導いたものと確信しております。

私達は、福井国体を立派に成し遂げた自信と誇りをもち、これからの市勢の一大飛躍を期したいと思っております。ますますのご支援ご協力をお願いいたします

福井国体見事に成功

市民総ぐるみの協力のたまもの

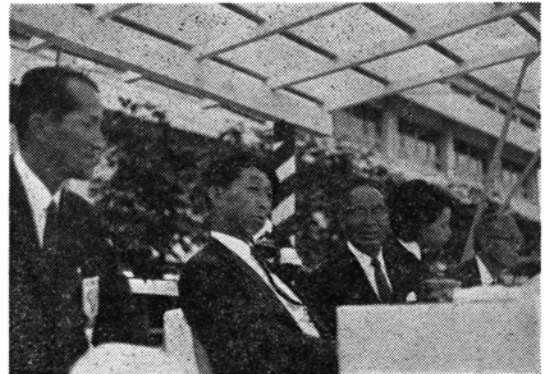
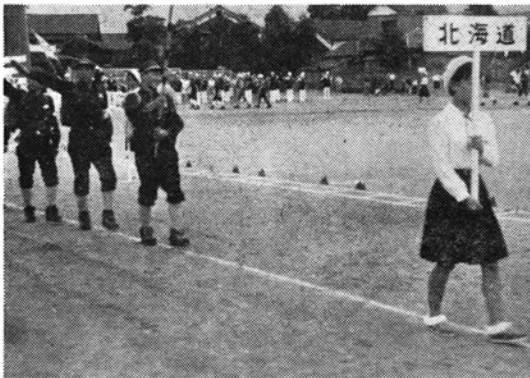
75万県民が文字どおり一致団結して迎えた福井国体は、10月1日から6日間にわたって行なわれ、すべての競技とその運営もきわめて成功のうちに終了し多くの収穫を得ました。

県スポーツ史上に不滅の栄光を輝かせた天皇杯の獲得と皇后杯第4位の成績はベストを尽して健闘した選手の努力はもちろん加えて県民総ぐるみの協力の賜物で、全国的に大きな教訓を与えました。

大野市においても3種目の競技が展開されましたが、人口わずかに4万5千の小都市で行なわれたことも国体史上はじめてで、実行委員会の労苦と市民の力の総結集は参加役員・選手・視察員の全員から大きく評価され、讃辞と謝辞が惜しみなくおられました。

学童から贈られた慰問作品や選手への激励文は大変感謝されて、数多くの礼状が届いています。

民泊国体の是非は別として、受入れ家庭の真心こもる接待に感激、後日改めてその宅を訪問して謝意を表した方もあったほどです。



羽生和永選手がんばる

オリンピックの体操競技

福井県から初めてオリンピック大会に出場した羽生和永選手（当市下庄中学出身、現在武生高校在学中）は、女子体操個人総合で75.30の大量得点をあげて、日本選手のうちで見事第1位、世界第13位にランクされ、その重責を果たしました17歳のウルトラ少女の4年後のオリンピ

ックに大きな期待がかけられるのは当然のことでしょう。



写真説明

- ◎左上 堂々の入場行進する山岳選手団（有終南小学校校庭）
- ◎左下 熱戦を展開する大阪チームと広島チームの一般女子準決勝戦（下庄グラウンド）
- ◎右上 一般男子ソフトボール決勝戦高知対愛知チームをご観戦の高松宮殿下（有中グラウンド）
- ◎右中 力と技を競う各選手におしめない声援をする観衆（市営相撲場）
- ◎右下 大会に真心こめてウラカタさんをつとめる婦人会員

11月 2、3日 総合文化祭

市民会館で盛大に挙行

第2回 総合文化祭が11月2、3日の両日、大野市民会館において盛大に行なわれます。

この総合文化祭には、市内の関係機関団体が日頃の文化研究活動の成果を発表し市民の情操を高め、文化に対する関心と理解を深め、文化創造への向上を図かろうというものです。

催しの主なものは演劇部門と書道、絵画等の展示部門の2つで、文化祭のあらましは次のとおりです。

◎演劇部門

11月2日

音楽会

午後1時から午後5時30分まで行なわれます。この音楽会には、いとよ保育園・小山・下庄・有終西・有終南各小学校、下庄・尚徳・有終各中学校、大野工業・大野高等学校の園児、児童生徒約500名が出演します。

◎語る雑誌いとよ

午後7時より午後9時30分まで行なわれます。演劇目次は口絵、グラビア、舞よう、音楽のページ、立体マンガ、人形寄席です。

11月3日

◎音楽会

午前9時から正午まで、有終中学校生徒による特別上演でバンド演奏と合唱

が行なわれます。

◎邦楽

午後1時から2時まで、琴、尺八奏と仕舞です。

◎洋楽

午後2時から午後6時30分まで行なわれ、大野吹奏楽団、男性合唱団、ブルーサウンズ、グリーンエコーズ、ピアノリサイタル、電々公社マンドリンクラブ、大野高等学校定時制の生徒が出演します。

◎郷土芸能

午後7時から午後9時30分までですが

森岡裕一ちゃんら20名

優良乳幼児の表彰

優良乳幼児の表彰式が10月25日市役所で行なわれ、森岡裕一ちゃんら20名が受賞しました。

乳児の部

婦山智之(富島)、南川晶彦(菖蒲池)、松田和久(元町)、石倉寛文(田野)、古川航一(元町)、水上真理(中荒井町3丁目)、中村修子(六呂師)、松田郁子(川上)、笹島喜久子(西山)、萱岡和栄子(糸魚町)

幼児の部

演出される主なものは次のとおりです。

蜀おどり、かんこおどり、小山おどり
打波の民謡、シッチョイナ、玉草おどり
奥越太鼓。

◎展示部門

とき 11月2、3日の両日午前9時から午後5時まで

ところ 大野市民会館内

大会義室 書道、絵画、手芸、写真、珍石、盆栽、彫刻

1、2会議室 生け花

ホワイエ1階 幼稚園、保育園の園児および小中学生の作品(書道、絵画など)

ホワイエ2階 小中学生の作品(手芸など)

森岡裕一(錦町)、中村勝彦(横枕)、川崎勝之(本町)、松田良光(城町)、砂田正樹(不動堂)、松井勉(平沢)、田中啓司(上黒谷)、天野紀美代(大門)、金巻佳代子(中村町)、宮本郁子(中荒井町2丁目)



表彰式のひとこま

からだと心を豊に

青少年を守る運動

あすの日本をになう青少年を心身ともに健やかに育てるため、青少年を守る運動が11月10日まで続けられます。

この運動は青少年とともに屋外で運動やレクリエーション活動をすすめて積極的な健康づくりを図り、家庭・職場ぐるみ読書活動によって教養を高める健康な明るい家庭づくりを推進し、青少年の健康な成長を促進しようというものです。

このため、大野市では次ぎのスローガンのもとにこの運動を進めています。

①みんなでスポーツに親しみ、じゆうぶんなからだをつくろう。

②みんなで良い本を読み、心をゆたかにしよう。

大野の歴史②③

早川弥五左エ門の雄図

50度に近い西海岸のビレオまで達した。



早川弥五左エ門は文政2年(1819)亀山城の南麓新堀の下級藩士の家に生まれた。6才の時父に死別、貧賤の中に刻苦勉強した。頼智あり先見の明あり、供小姓・面谷鉦山奉行・西潟代官等を歴任し、責任感の強いことによって信頼を深めた。

安政4年(1857)、早川は39才。世は幕府の下田条約調印をめぐる、尊王論と佐幕論とは鋭く対立し、開国説と攘夷説とは一触火をはくまきつを生じた。早川は同志20名を率いて北海道に渡り、函館奉行の了解を得てカラフトを踏査し、北緯

大野藩が、大野丸を建造しカラフトの開拓と植民、漁ろうと海防に当ろうと企てたのは、早川らの進言によるのである。

安政6年春、大野丸によってカラフトに渡航し、北辺の経営に当ること5か年ロシア人と折衝して国威を失墜することなく、全力をあげて開拓に励んだが、幕府の助成も実行にいたらず、万延元年(1860)ついに宿願達成を思いとどまった。

明治維新に隠退し、上味見の折立に閑居、明治17年病没した。63才。

自主防火管理の徹底図る 秋季全国火災予防運動

秋季全国火災予防運動が11月26日から12月2日までの1週間全国いっせいに展開されます。

この運動のねらいは、◎バケツいっぱいの水のくみ置き ◎タバコの投げ捨てと寝タバコの防止 ◎地震ときの火の仕末 ◎宿泊集会施設における避難経路の案内の徹底 ◎工場等の自主防火管理の徹底等で、この気風を市民に浸透させ火災を防止しようというものです。

ことし10月末までに大野市内に発生した火災件数は17件で、前年より2件も多

くなっており、833万円の財産が一瞬のうちに灰になっています。これらの火災の主な原因はガスコンロ、石油ストーブ、子どもの火遊び、たばこの吸いがらとなっています。

これから火を多く取り扱う季節となりましたので、各家庭ではその取り扱い、跡始末等について、全員で注意しましょうこの秋季全国火災予防運動を機会に、市民ひとりひとりがその趣旨をしっかりと身に付け、市民総ぐるみの運動を強力に進めて悲惨な事故をなくしたいものです

また、このほか、加入者の皆さま方が不時の出費で多額のお金が必要な時に直接現金を融資する普通貸付や、契約者15人以上が一団となって、その団体の被保険者の共同の利益を図る施設を設置したり、購入したりするための資金を融通する団体貸付などがあり、加入者の皆さまのお役に立っております。

「納税者の声を聞く旬間」

11月1日から10日まで

こととして15回目を迎えた「納税者の声を聞く旬間」が、11月1日から10日まで全国いっせいにこなれます。

これは、税に関するいろいろな意見や要望を広く求めて税務行政の改善に取り入れ、またこの機会に納税者と税務官庁との意志のそ通をはかって「近づきやすい税務署」を築こうとするものです。

このため大野税務署では、署幹部の納税者訪問、納税者の声を聞く座談会、高校生・署内見学および租税教室、アンケート募集などの行事を行なうほか、手紙

清 掃 員 募 集

締め切り 11月10日

- ◎募集人員 2名
- ◎応募資格 45才までの男子で、身体強健な方。学歴は問いません。
- ◎作業内容 市街地のじんかい(芥)収集
- ◎締め切り 昭和43年11月10日
- ◎その他 詳細については市保険衛生課へお問い合わせください。

などによる意見要望などをどしどし寄せられるよう望んでいます。

また、税についての相談は気軽に税務署へおこしください。

インフルエンザ予防接種日程

11月5、12日	1.00～1.20	宝慶寺小学校
20日	1.50～2.00	若生子小学校
	1.00～2.00	大野公民館
21日	1.00～1.30	森目小学校
	2.00～2.30	蕨生小学校
	1.00～1.30	乾側小学校
22日	1.00～1.30	六呂師小学校
27日	1.50～2.00	若生子小学校
	1.00～2.00	大野公民館
28日	1.00～1.30	森目小学校
	2.00～2.30	蕨生小学校
	1.00～1.30	乾側小学校
29日	1.00～1.30	六呂師小学校
12月3日	1.00～2.00	小山、上庄公民館
4日	1.00～2.00	大野公民館
	1.00～1.40	木本分校

◎接種手数料 3才以上6才未満1回分70円、6才以上15才未満1回分90円、15才以上1回分140円。

町づくりに役立つ 簡 易 保 険

郵便局の簡易保険に加入された方々が毎月郵便局にお払込みになる保険料は、1年間に3,260億円をこえる大きな金額になっております。

このお金はやがては皆さまのお手許に保険金、配当金としてお返しするものでありますが、それまでは加入者、社会全体の利益になるよう積立金として積立ておくものなのです。

たとえば、都道府県、市町村など、公共団体などに融資されて、学校、公営住宅、病院などをつくるための資金、道路橋りょうなどの事業資金、その他、農村漁村のいろいろな設備資金、災害を受けた地方の復旧工事資金などとなって、皆さまの生活と直接結びついております。

このように、簡易保険事業の資金は明るい村、住みよい町をつくるために役立つ、あわせて日本経済の発展のうえにも大きな役割を果たしています。

てみたものである。この秋、もう一度その意義をかみしめたい。

の花となって咲き輝き、小・中学生の慰問作品は、どれだけ選手を喜ばせ励ましたことか、礼状が続々と届けられているとのこと。▼福井国体の大成功は県民の一致団結の賜物、予想もなかった「天皇杯」の獲得は、これからの子供たちへのこの上もない励みとなる。スポーツの後進県と見なされていた本県が、自力で一躍この輝かしい栄冠を得たことはお互いに終生忘れることができない。選手の方々の皆さん方、長期にわたる努力とその根性から敬意を表する次第。▼国体招致決定以来、ただこの日のために精進を続けられた関係者の皆さん、国体期間中に示された態度も実にリッパなもの。これを契機として今後の市民性の高揚と市政の発展に寄与していただきたい。▼山高きがゆえに尊しとせず。水清きために魚住まずのたとえもある。限りない緑の樹木と風土に適した心の魚を豊富に育てていきたいものである。国体を送った名残りもまだ尽きないこの頃、明治百年記念のこの秋、もう一度その意義をかみしめ

福井国体の成果は今更いうまでもないが、わが大野市でも見事に成功したことを市民の皆さんと共に喜び合いたい。役員・係員の皆さん、補助員の中・高校の生徒さん民泊宿舍の皆さん、奉仕に専念の婦人会ボーイスカウトの皆さん、歓送迎や応援に尽された皆さん等々、文字どおり親切国体を成し遂げられたことにただただ感謝申し上げたい。花・パイ運動への協力は美しい心の花となって咲き輝き、小・中学生の慰問作品は、どれだけ選手を喜ばせ励ましたことか、礼状が続々と届けられているとのこと。▼福井国体の大成功は県民の一致団結の賜物、予想もなかった「天皇杯」の獲得は、これからの子供たちへのこの上もない励みとなる。スポーツの後進県と見なされていた本県が、自力で一躍この輝かしい栄冠を得たことはお互いに終生忘れることができない。選手の方々の皆さん方、長期にわたる努力とその根性から敬意を表する次第。▼国体招致決定以来、ただこの日のために精進を続けられた関係者の皆さん、国体期間中に示された態度も実にリッパなもの。これを契機として今後の市民性の高揚と市政の発展に寄与していただきたい。▼山高きがゆえに尊しとせず。水清きために魚住まずのたとえもある。限りない緑の樹木と風土に適した心の魚を豊富に育てていきたいものである。国体を送った名残りもまだ尽きないこの頃、明治百年記念のこの秋、もう一度その意義をかみしめ

